

# EF3885F - 80H ユーザーズガイド

第一版 2001年9月 発行

## 1. 概要

EF3885F - 80Hは、EFP - 本体に装着して使用するEFP - 本体専用パラレル書込みユニットです。

EF3885F - 80Hを使用することにより、三菱電機製3885グループのフラッシュメモリ内蔵MCUへの書込み、読出しができます。

またEF3885F - 80Hには80ピン0.5mmピッチQFP(80P6Q-A)用ICソケットを実装しています。

図1.1にEF3885F - 80Hの外形図を示します。

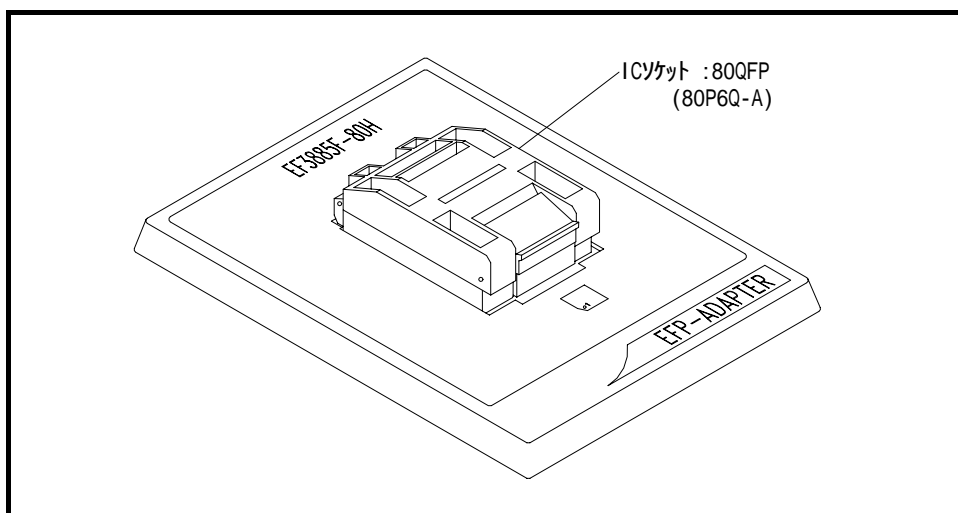


図1.1 EF3885F - 80H外形図

## 2. MCUの挿入方向

MCUを挿入するときは、EF3885F - 80HのICソケットの1番ピンとMCUの1番ピンを合わせて挿入してください。誤挿入はMCUに致命的な破損を引き起こしますので、十分ご注意ください。

図2.1にMCUの挿入方向を示します。

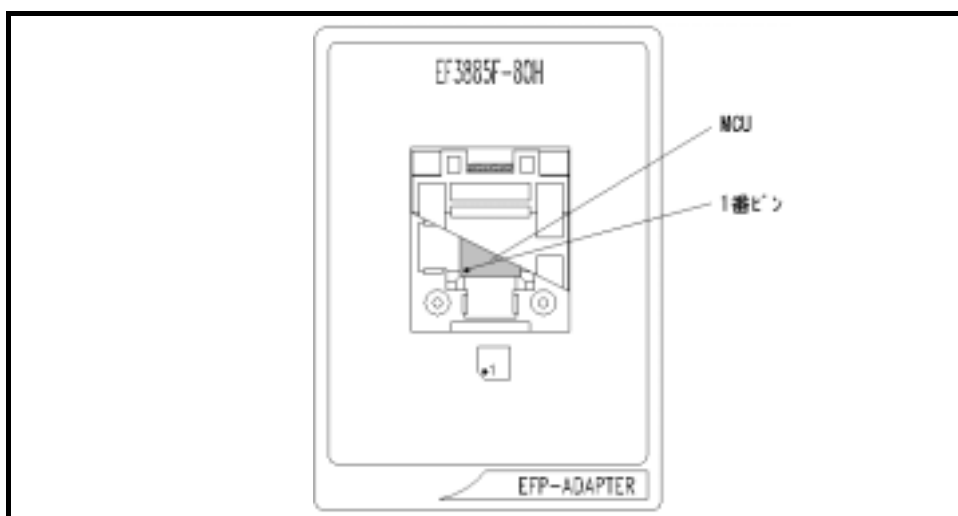


図2.1 MCUの挿入方向

### 3. 対応MCU一覧

表3.1にEF3885F-80Hの対応MCU一覧表を示します。

表3.1 EF3885F-80H対応MCU一覧表

MCU タイプ	メモリタイプ	対応 MCU 名称	プログラムメモリアドレス
M3885xFF (BOOT)	フラッシュメモリ	M38859FFHP	F000h ~ FFFFh
M3885xFF (NORMAL)			1000h ~ FFFFh

[ 備 考 ]

EF306KF-144R3 を使用する場合、下記の環境にてご使用ください。

<EFP-I 本体>

Monitor        Version        : Ver.3.00.41 以上

<コントロールソフトウェア>

WinEFP        Version        : Ver.1.20.21 以上

EFP MCU32.TBL Version        : Ver.3.02.19 以上

EFP- および WinEFP 等のバージョン番号は、WinEFP ウィンドウメニュー内の[Help] [About]で表示されます。ご使用の EFP- 等の S/W バージョンが古い場合は、下記のサイトにて最新バージョンアップデータをダウンロードしてください。

<EFP- 最新 S/W 無償ダウンロードサイト>

[http://www.suisei.co.jp/verup/verup\\_j.htm](http://www.suisei.co.jp/verup/verup_j.htm)

### 4. MCUユニットの清掃

MCUユニット上のICソケットの接触不良を防止するために使用回数に応じて、定期的にICソケット内の接触ピンをブラシ等で清掃ください。

### 5. Erase (イレーズ)

イレーズコマンド内のイレーズタイプパラメータでブロック消去および、全ブロックの一括消去が行えます。イレーズコマンドのパラメータ入力ダイアログを図5.1に示します。



図5.1 イレーズコマンドパラメータ入力ダイアログ

#### 1) Erase Type (イレーズタイプ)

イレーズタイプパラメータ表示領域右側のドロップダウンリスト（下矢印をマウスでクリックすると表示）内にはAll Eraseおよび各ブロックのアドレス領域（xxxxxxh ~ xxxxxh）が表示されますので消去形式を選択してください。

#### 2) OK ボタン

イレーズコマンドを実行します。

#### 3) Cancel ボタン

コマンドを中止します。